

腎臓と水分



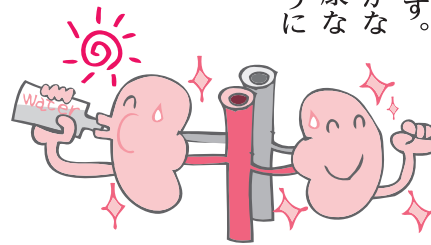
慢性腎臓病と診断されています。水分をたくさん取った方が腎臓にいいと聞きましたが、本当でしょうか。



A 腎臓には体の水分量を調節する役割があり、適度な水分補給をしないと脱水になり腎臓にも負担をかけてしまいます。

尿量の低下がない人は、健康な人と同じように喉の渇きや気温に依りて水分を積極的に取る

や鎮痛剤などを使用すると、腎機能の悪化につながるため注意が必要です。慢性腎臓病の病期が進んでいる人、むくみ、尿量の低下がある人、心不全の合併症の有無などによって水分制限すべきかどうかが変わってきますので、そのような場合は、かかりつけ医にご相談ください。



喉の渇きや気温に依りて水分を積極的に取る

喉の渇きを自覚しないこともあるため、夏などは特に小まめに水分を補給するように習慣付けましょう。さらに、脱水がある状態で利尿剤



高知高須病院
理事長 池辺 弥夏さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 〈腎臓内科〉